

事業計画など承認 02年度(平14)校友会代議員会



平成14年度校友会代議員会が6月1日(土)神田キャンパス303号教室で、全国から約150人の代議員が出席して開催された。

菊地勝雄総務部長が司会、小林清会長が議長となって進めた結果、第1号議案「平成13年度事業報告、収支決算書・貸借対照表・財産目録、監査報告」、第2号議案「平成14年度事業計画(案)、収支予算(案)」を原案通り可決。第3号議案「会則改正(案)」に関しては今後も継続して審議していくことを決めた。

代議員会終了後、15階ホールで懇親会を催し、歓談した。

なお、第2号議案は7月号で詳報の予定。

[6月15日/ニュース専修6面]

【専大校友を訪ねて】

全国に知られた「すぐやる課」11人のスタッフと共に奮戦中 照井 年二さん(昭45・経済)



千葉県松戸市役所は、照井さんが入庁した32年前、市長が行政刷新を掲げて「すぐやる課」を設置、全国の注目を集めた。昨年4月、この「すぐやる課」の課長に照井さんは就任した。現在11人の課員と共に奮戦中だ。

「3人1組、トラック2台で市内を回り、市民から電話で要望の現場に駆けつけます。それで課員がその場で処理します。」道路補修、ハチ退治、側溝の清掃、伐採や落葉の清掃、動物処理など分野を問わず出来ることは何でもやる。毎日平均十数件の要望に応える。

戦後まもない48年元旦、東京・品川区で産声をあげた。4人兄弟の次男。小さいときから本が好きだった。「夜道で、よく雑誌を読みました。小学校5年のとき、父が漢和辞典を買ってくれ、嬉しかったです」。東海大付属高輪台高校に進学すると英語に傾斜、日本文学の英訳なども読みこなした。

66年、経済を学びたいと専修大学に入学。平館利雄教授(91年死去)のゼミで「計画経済」を学んだ。「面白かったです。合宿は年に何回あり、日光辺りの安い旅館に1週間くらい泊まり込み夜中の2時3時まで議論が白熱しました。」このことがきっかけで将来「都市計画」をやりたいと思い、公務員を目指した。

70年、松戸市役所に入庁し都市開発部に配属されたときは念願が叶ったと思った。「でも、実際はずいぶんギャップがありました。補修係の仕事で、来る日も来る日も移転交渉。苦しいこともあった」と述懐する。だが「継続は力なり」で計画係長になり10年間やりぬく。それから水道部、建設局、クリーンセンター所長などを経て現職に。

いま市役所には約90人の専大卒業生が在職し「鵬翼会」を結成、和気あいあいの雰囲気だ。

松戸市の自宅で奥さんと息子さん(27歳)との3人暮らし。休日は東京を電車で回り、途中下車し散歩をする。また「仲間と房総へ海釣りに出かけるもの楽しみ」と笑った。

[6月15日/ニュース専修6面]